



<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2021年9月21日

フィリピン総選挙及びフィリピン大統領選挙 1

フィリピン総選挙は2022年5月9日に、バランガイ=地区・村の役人を除く国・市省、地方の行政機関及び立法機関の役職者について行われる予定。同総選挙は選挙管理委員会(COMELEC)によって実施・管理される。フィリピンの大統領・副大統領の選挙もその総選挙の一部として実施され、内外の最大の関心事となっている。



同国の憲法によれば、現職大統領は2期目の大統領職の立候補が禁じられているため、ドゥテルテ大統領(76歳)は今回、「副大統領候補」として出馬することが見込まれていたが、最大与党「PDPラバン」は、9月8日の党大会でドゥテルテ大統領を副大統領候補として指名し、ドゥテルテ大統領もこれを受諾したことで、同党の正式な立候補者となった。また、同党は同日、大統領候補としてボン・ゴー上院議員を指名している。



一方、その対立候補としては、パンフィロ・ラクソン上院議員(73歳)とビセンテ・ソットIII上院議長(73歳)がやはり9月8日に、大統領候補と副大統領候補としてペアで立候補することを正式に表明している。ラクソン氏は2004年以来2度目の大統領選への立候補となる。なお、9月15日時点で出馬を正式表明した大統領候補は、以上の2組に止まっている。



ラクソン氏とビセンテ・ソット III 氏



ドゥテルテ大統領とボン・ゴー氏

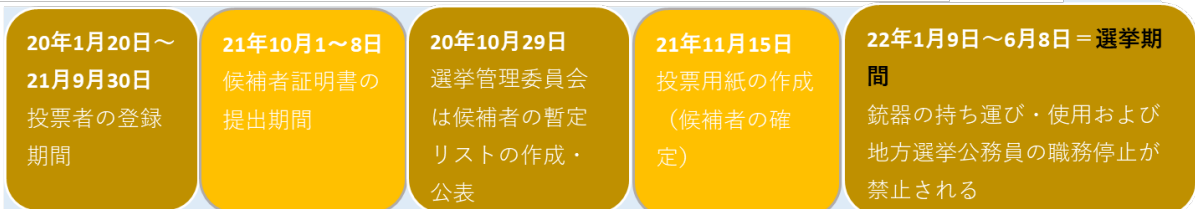
写真:フィリピンオンラインニュースサイト



フィリピン総選挙のスケジュールは以下の通りである。

当社では、今後もフィリピン総選挙の進展について引き続き状況を報告していく。

フィリピン総選挙のメイン・タイムライン



同総選挙の準備は2020年1月から開始されており、コロナの感染拡大で一部遅れも出たものの、2022年1月9日～6月8日の選挙は予定通り実施される見通し。

2022年1月9日～6月8日 = 選挙期間の詳細



5月9日～16日
開票作業期間
6月8日
候補者による支出
明細書提出期限
6月30日
当選者の就任日

2022年4月14日～15日は祭日（聖木曜日と聖金曜日）のため選挙運動が禁止される。

フィリピンThe Commission on Elections (Comelec) リリース報道に基づきCPVN作成